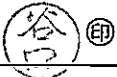


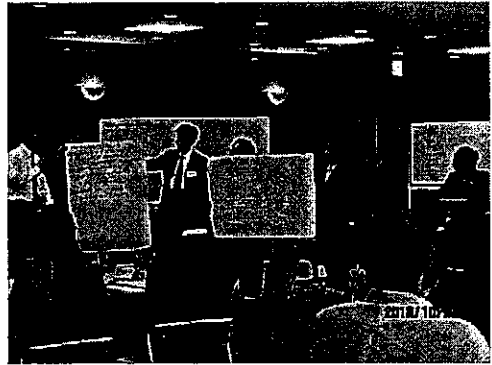
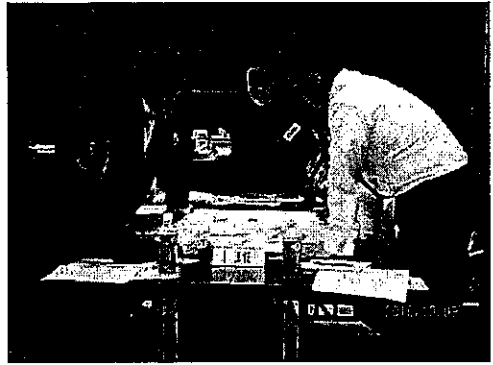
調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

30.10.15

議公市津

平成 30年 10月15日

志摩市議会議長 様	報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口覚	
年月日	平成 30年 10月 9日 (火) ~ 平成 30年 10月 9日 (火)		
時間	10時 30分 ~ 16時 00分		
参加者氏名	西崎 甚吾 井上 幹夫		
用務先	住所	三重県津市桜橋2丁目96番地 三重県自治会館 4F ホール	
	名称	自治創造塾	
目的・内容	<p>テーマ『対話を重視した協働のプロセスの育み方』</p> <p>事例発表1 「地域の居場所、まちの縁側を育もう」 講師：まちの縁側育みプロジェクトながの事務局 西澤 淑恵 氏</p> <p>事例発表2 「住民主体の育み方と、楽しい協働の仕掛け方」 講師：NPO 法人まちの縁側育み隊 代表理事 名畑 恵 氏</p> <p>グループワーク 「協働のポイント〇〇か条をつくろう」</p>		
成果・所感	<p>事例発表において、協働するための成功事例と失敗事例を聞き、多様な人が顔と顔、膝と膝を突き合わせて話し合うことが最も重要と知りました。</p> <p>また、グループワークでは4班に分かれ、各々が協働に必要と思うことを付箋に書き、カテゴリー別に分け、各班が「協働のポイント〇〇か条」を作成・発表をすることで、協働での最初の作業を実践しました。</p> <p>今回の研修はとても有意義なものと感じました。</p>		



調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

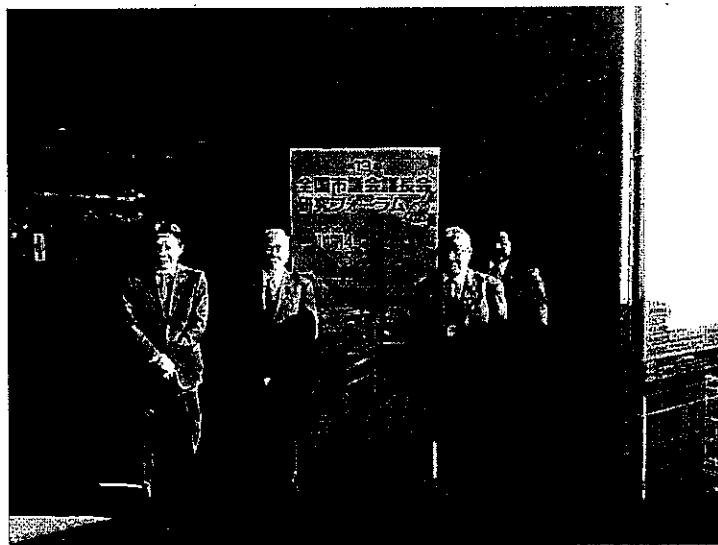
30.12.13

平成30年12月13日

志摩市議会議長 様	報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口 覚
年 月 日	平成30年11月14日(水) ~ 平成30年11月15日(木)	
時 間	14日 13時 ~ 19時 15日 9時 ~ 11時	
参加者氏名	谷口覚 西崎甚吾 濱口三代和 井上幹夫	
用 務 先	住 所	栃木県宇都宮市明保野町7-66
	名 称	宇都宮市文化会館
目的・内容	<p>全国市議会議長会主催の研究フォーラムに参加。</p> <p>全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行い、地方分権の時代に即応した議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的に、平成18年度から毎年開催している。</p> <p>今回は平成31年に実施される統一地方選挙を控え、地方自治の基礎である議会が住民とどのように関わり、どうすれば住民の議会に対する関心を高めることができるか、各方面からお招きする講師の方々をはじめ皆さんと広く討議した。</p>	
成果・所感	<p>地方議会では議会改革の一環として、議会報告会、休日・夜間議会や子ども・女性議会の開催など、住民代表としての機能強化を積極的に推進しているが、必ずしも住民に身近で魅力的な存在となっていない面があるのではないかと思われる。議会を多様な価値観や意見を持つ住民に身近なものにする取組をこれまで以上に行っていく必要がある。</p> <p>今回のフォーラムでは、議会が住民とどのように関わり、どうすれば住民の議会に対する関心を高めることができるか、各方面からお招きした講師の方々をはじめ、皆さんから活発な意見をいただきながら広く討議し、山積みする課題解決の一助となるよう講義を受けた。</p> <p>第1部では、中央大学法学部教授の宮本太郎氏から「『地域共生社会』をどうつくるのか 2040年を越える自治体のかたち」をテーマに基調講演が行われた。</p> <p>また、第2部の「議会と住民の関係について」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、コーディネーターとして山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授の江藤俊昭氏、パネリストとして公益財団法人地方自治総合研究所主任研究員の今井照氏、有限会社ひまわり亭代表取締役 食・農・人総合研究所リュウ</p>	


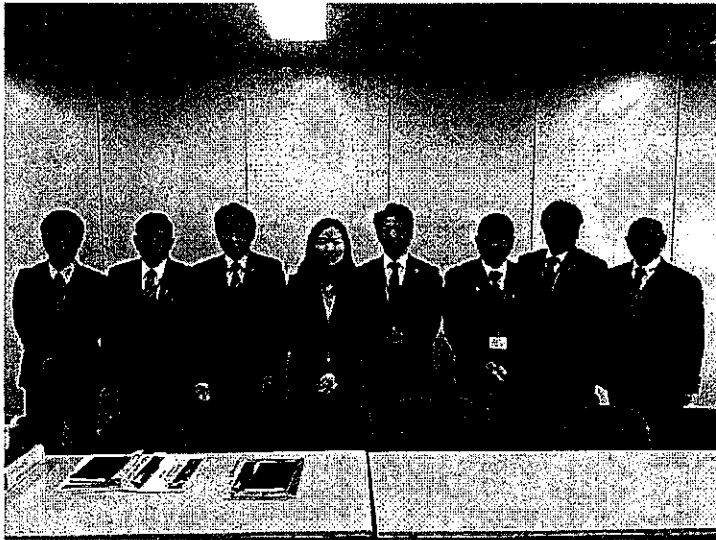
キンカの郷主幸の本田節氏、朝日新聞大阪本社地域報道部記者の神田誠司氏、宇都宮市議会議員の小林紀夫氏による講義や討論を拝聴した。

第4部の課題討議では「議会と住民の関係について」をテーマに、事例報告者として久慈市議会副議長の桑田鉄男氏、新潟市議会議員 新潟市議会主権者教育推進プロジェクトチームリーダーの伊藤健太郎氏、犬山市議長のビアンキアンソニー氏、竹原市議会議員の道法知江氏によるそれぞれの議会での取り組みについて報告を受けた。議会基本条例制定の最も大きな意義は、新たな議会像を宣言したことであるが、あくまで議会運営という形式に過ぎず、もう一歩進める時期であり、本来議会が有している役割・権限を十分発揮して住民福祉の向上につなげるからこそ住民に信頼される議会と成り得る。議会からの政策サイクルを回さない限り、つまりプツンプツンと定例会で切られると追認機関にならざるを得ず、住民福祉の向上につながらない。議会活動の連続性が必要。定例会を一回とした通年議会や定例会は4回としながらも閉会中にも委員会を中心にしっかりと活動しようとする議会も含めて、通年的な発想で活動する議会は広がっている。そして、議員任期は4年間であるがゆえに、その4年間の議会の目標を決めてそれを意識して活動し首長・行政と政策競争をする。通年期的な発想や実践も生まれている。議会からの政策サイクルとしての活動が必要要素として住民との意見交換会（議会報告会）を起点として住民の意見を参考に議会として取り組む課題、調査研究事項を抽出する。一方ではそれを踏まえて行政評価項目と行政許可を実施し、それによって決算審議・認定は充実しそれを予算要望につなげる。他方では、住民の意見を踏まえて政策課題の抽出と調査研究・政策提言につなげる。住民に信頼される議会になるには、について研修しました。大変参考になりました。



調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

平成30年12月13日

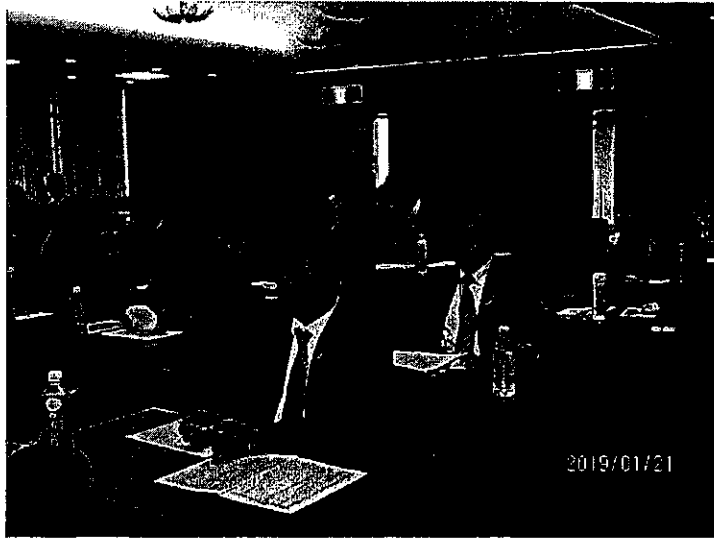
志摩市議会議長 様	報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口 覚 
年月日	平成30年11月16日(金)	
時間	10時 ~ 12時	
参加者氏名	谷口覚 西崎甚吾 濱口三代和 井上幹夫	
用務先	住所	東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館26階
	名称	環境省 自然環境局 国立公園課
目的・内容	インバウンド対応の取組として、全国8カ所のうちの一つ、伊勢志摩国立公園におけるステップアッププログラムの今後の進め方について、環境省自然環境局国立公園課長 中尾文子氏、国立公園課専門官 滝澤玲子氏から説明を受けた。	
成果・所感	<p>伊勢志摩国立公園が環境省の掲げる国立公園満喫プロジェクトの先導的モデルの一つとして選定されて、2016年から2020年まで5年間を計画期間とする「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020」を策定し、地域主体による官民一体となったナショナルパーク化の取組を展開していますが、その中間評価と今後の取組について研修してきました。</p> 	

調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

31.1.24

平成31年1月24日


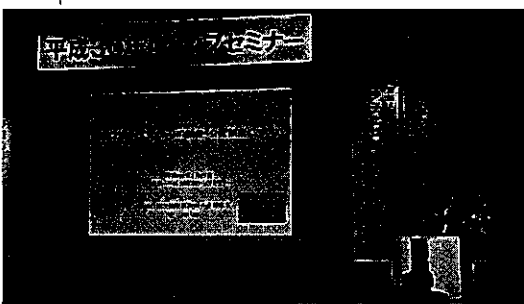

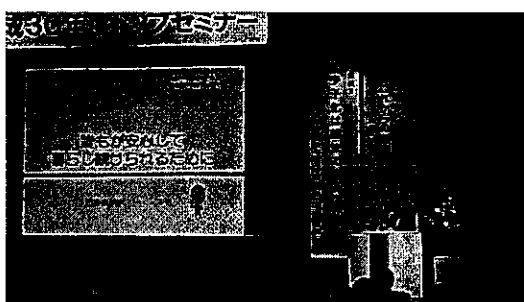
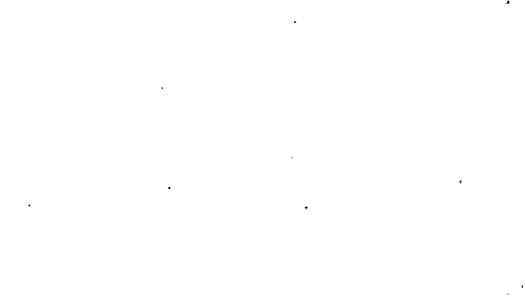
志摩市議会議長 様	報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口 覚
年月日	平成31年 1月21日 (月)	
時間	午後1時30分 ~ 午後4時	
参加者氏名	谷口 覚、西崎 甚吾、井上 幹夫	
用務先	住所	津市桜橋2丁目96番地
	名称	三重県自治会館 4階 ホール
目的・内容	<p>自治体議員研修 (第1回) へ参加</p> <p>講師 四日市看護医療大学・地域研究センター長 (自治体議会政策学会会長) 竹下 譲 氏</p> <p>テーマ 「これからの議会のあるべき姿と、それに相応しい議員のあり方」 ～これまでの議会制度の変遷と現状を振り返りながら～</p> <p>内容 、議会制度が取り入れられて以来、時代の変化とともに制度も変遷し、それに伴って議会や議員のあり方もまた移り変わりを重ねてきた。 議会制度についての更なる改革が進む中、議会や、住民の代表である議員のあり方も問われている。 今回の研修では、これまでの議会制度の変遷と現状を振り返りながら、これからの議会のあるべき姿と、それに相応しい議員のあり方について考える。</p>	
成果・所感	<p>全国の地方議会では、競い合うように議会改革が進展している。 議会改革は、住民福祉の向上を図るものでないと意味はない。 そんな中で、議員の一般質問を議会改革に使うべきでは。 一般質問の要請は、ひとりの議員の意見に過ぎない。 実際には実現することはほとんどないのでは。 ひとりの議員の要請を全議員で検討し、適切な要請は議会の意思として採択する。それこそ議会の責務である。 「チーム議会」の確立が必要である。</p>	



調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

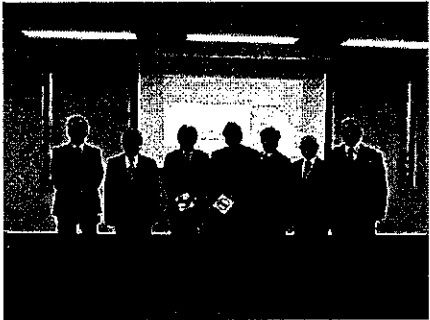
31.2.18
議会

平成31年2月18日

志摩市議会議長 様		報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口 覚	
年月日	平成31年 1月27日(日) ~ 平成 年 月 日()			
時間	午後2時 ~ 午後4時30分			
参加者氏名	谷口 覚、西崎 甚吾、井上 幹夫			
用務先	住所	津市一身田上津部田1234番地		
	名称	三重県総合文化センター 男女共同参画棟 多目的ホール		
目的・内容	<p>平成30年度トップセミナー（主催：三重県医師会、三重県）に参加</p> <p>○講演Ⅰ：「人口減少とこれからの医療・介護制度について」 国民健康保険組合中央会 理事長 原 勝則 氏</p> <p>○講演Ⅱ：「少子化は解決できるのか？」 明治大学 政治経済学部 教授 加藤 久和 氏</p> <p>○講演Ⅲ：「誰もが安心して暮らし続けられるために」 三重県知事 鈴木 英敬 氏</p>			
成果・所感	<p>急速な高齢化の進行と人口減少の中で、2025年を超えて2040年までの長期を見据えた医療・介護のあり方等についての講演。今回で5回目となる大変有意義な講演でした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>			


調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

平成31年2月18日

志摩市議会議長 様		報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口 覚
年 月 日	平成31年 2月 4日 (月)		
時 間	午後3時 ~ 午後4時30分		
参加者氏名	谷口覚 西崎甚吾 井上幹夫		
用 務 先	住 所	愛知県犬山市大字犬山字東畑36番地	
	名 称	犬山市議会	
目的・内容	<p>全国の地方議会で競い合うように議会改革が進展しています。そのような中、犬山市議会のピアンキ・アンソニー議長は日本の地方議会で初めての外国出身の議長で、議会改革の旗手として注目されています。</p> <p>犬山市議会改革の取り組みについて視察研修を行いました。</p>		
成果・所感	<p>プロセス</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「市民参加」の機会と形を増やし意見聴取</div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">各課題に対する議員間での討議</div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">意見集約など議会として提言</div> </div> <p>1.市民フリースピーチ 2.女性議会 3.オープンドアポリシー 議長室にて市政相談 4.市民との意見交換会 5.親子議場見学会 6.その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員協議会 ・ 決議 ・ 附帯決議 ・ 申し入れなど <p>・ 各種団体と常任委員会の意見交換会 ・ 学生議会</p> <p>議会と市民との距離の近さを感じました。</p>		
			

調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

平成31年2月18日

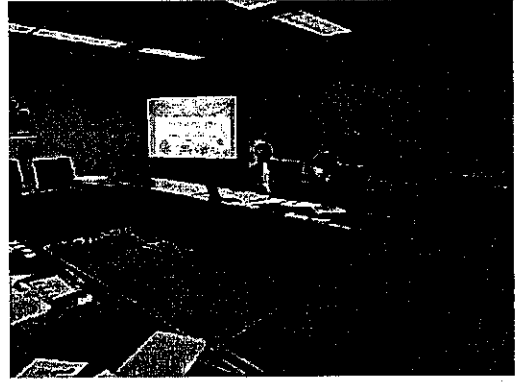
志摩市議会議員 様		報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口 覚 
年月日	平成31年 2月 5日 (火)		
時間	午前10時 ~ 午前11時30分		
参加者氏名	谷口覚 西崎甚吾 井上幹夫		
用務先	住所	愛知県日進市蟹甲町池下268番地	
	名称	日進市役所	
目的・内容	<p>ESD 推進に関する取り組みについて</p> <p>志摩市は2018年6月に SDGs 未来都市に選定され、食文化を未来につなぐまちづくりに掲げている。</p> <p>日進市では2014年以来持続発展教育 (ESD) 推進基本方針で人づくりを軸に持続可能な社会の実現を目指しており、具体的な計画を SDGs に関連づけている。</p> <p>その取り組みについて研修した。</p>		
成果・所感	<p>課題</p> <p>(1) ESD の認知度不足 ESD って何？ 市民、市役所職員、企業、NPO、市民団体への地道な周知啓発の継続が必要。</p> <p>(2) 庁内の連携不足 職員の意識改革の継続。 予算・人員も必要。 他部署の業務内容をなかなか把握できない。 業務全体のバランス調整も必要になる。</p>		



調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

平成31年2月18日

志摩市議会議長 様	報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口 覚
年 月 日	平成31年 2月 5日 (火)	
時 間	午後2時30分 ~ 午後4時	
参加者氏名	谷口覚 西崎甚吾 井上幹夫	
用 務 先	住 所	津市広明町13番地
	名 称	三重県農林水産部 フードイノベーション課
目的・内容	みえジビエの推進に向けた取り組みについて 衛生的で品質の良いシカ肉やイノシシ肉を安心して食べることができるみえジビエの取り組みについて研修した。	
成果・所感	<p>三重県におけるジビエ推進の具体的な取り組み (H23年~)</p> <p>H23年 みえジビエ品質・衛生管理マニュアルの策定</p> <p>H24年 全国で2番目に獣害対策課を新設</p> <p>H25年 みえジビエ登録制度の創設 (日本初) 三重県独自の食品衛生検査の取り組み開始</p> <p>H26年 「みえジビエ」商標登録の取得 (日本初)</p> <p>H27年 みえジビエプレミアムクーポン券の発行</p> <p>H28年 「G7伊勢志摩サミット」においてジビエ提供 みえジビエ推進協議会の設立 みえジビエトレーサビリティシステムの構築 情報発信サイトの構築</p> <p>H29年 みえジビエ推進協議会と連携した登録制度の普及・啓発の開始</p> <p>みえジビエ登録制度により、より安全で安心して美味しいシカ肉やイノシシ肉を食べていただくみえジビエは、全国でもトップレベルの衛生管理、品質管理がなされた野生獣肉。</p> <p>みえジビエ登録の解体処理施設は現在8施設、販売店は66店。加工製造施設は4施設、販売店は33店とのこと。</p> <p>さらなるブランド力向上と消費拡大のため、登録事業者を増やす努力が必要。</p>	

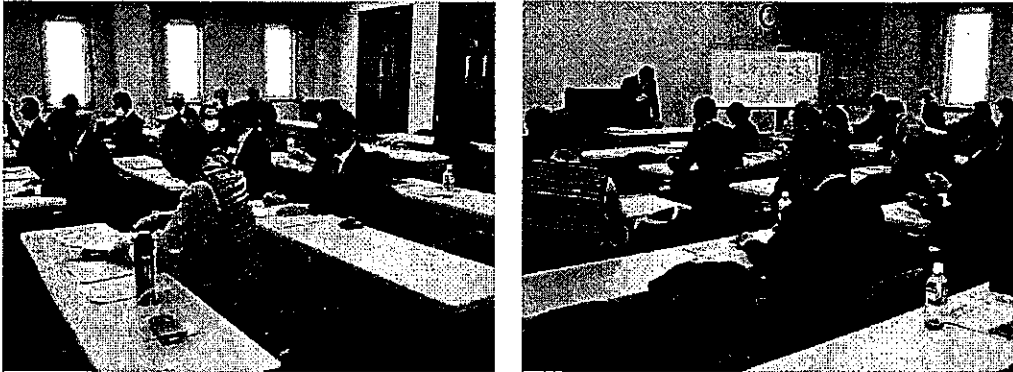


調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

31.2.-7



平成 31年 2月 7日

志摩市議会議長 様		報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口 覚
年月日	平成 31年 2月 6日 (水) ~ 平成 31年 2月 6日 (水)		
時間	10時 00分 ~ 16時 00分		
参加者氏名	井上 幹夫		
用務先	住所	三重県津市栄町2丁目361番地 三重県地方自治労働文化センター 4F 大会議室	
	名称	30年度 議員研修「議会の基礎」講座	
目的・内容	<p>第1講 「議会の役割・機能」と「議員の役割・資質」 第2講 「二元代表制」と「議会改革」 第3講 「議会の監視機能」と「議会の政策形成機能」 第4講 「政務活動費の効果的な使用」 第5講 「予算委員会の進め方」</p> <p>講師：高沖秀宣 氏（三重県地方自治労働文化センター上席研究員）</p>		
成果・所感	<p>昨年も受講した講座ですが、今回はそれに加え「予算委員会の進め方」も講座に加えられました。</p> <p>今回の講座により、議会は議事機関であること。議員には専門性が必要であり、そのためには研修等で議員の資質向上が必須であること。定数削減・議員報酬減額は行政改革であり、議会改革ではないこと。本当の議会改革とは二元代表制を実質化していくこと。等々のことを改めて学び直し、今後の議員活動に役立つものでした。他の内容は資料を添付いたします。</p>		
			

調査研究、研修、要請・陳情活動報告書

平成 31年 2月 14日

志摩市議会議長 様	報告者	会派名 フォーラム未来 議員氏名 谷口 覚
年月日	平成 31年 2月 8日 (金) ~ 平成 31年 2月 8日 (金)	
時間	10時 30分 ~ 15時 30分	
参加者氏名	西崎 甚吾 井上 幹夫	
用務先	住所	三重県津市桜橋2丁目96番地 三重県自治会館 4F ホール
	名称	自治体議員研修(第2回)
目的・内容	テーマ『自治体予算を考える』 1限 「自治体予算の原則」 2限 「予算のチェックポイント①」 3限 「予算のチェックポイント②」 講師：金崎 健太郎 氏 (関西学院大学法学部・大学院法学研究科教授)	
成果・所感	今回の研修では、住民を代表する立場として、行政とともに住民のための予算を考えるにあたり、必要な知識や留意すべき点について学びました。 特に住民の代表である議員には、行政の策定する予算や実施する施策についてチェックするとともに、住民にとって必要な予算を行政と共に考えていく役割が求められることを学びました。 再度、受講したい内容でした。詳しい講座内容は講義資料を添付します。	

